

## CAPIT タイヤウォーマー取り扱い説明書

このたびは、CAPIT タイヤウォーマーをご購入頂きまして、誠にありがとうございます。

CAPIT タイヤウォーマーを末永く安心してご使用頂くために、下記にご案内する取り扱い上の説明をお読み頂き、内容をご理解頂いた上、CAPIT タイヤウォーマーをご使用下さいます様お願い申し上げます。





CAPIT PERFORMANCE 製品総輸入発売元  
MOTO CORSE  
〒243-0022 神奈川県厚木市酒井 3011 番地  
Tel: 046-220-1611 Fax: 046-220-1699  
Web site: [www.corse.jp](http://www.corse.jp) / e-mail: [info@motocorse.jp](mailto:info@motocorse.jp)

## 1. CAPIT タイヤウォーマーについて：

CAPIT タイヤウォーマーは、長年にわたる絶え間ない研究開発によって得られたノウハウをもとに、厳選した素材とパーツを精密な製造方法により、他とは比較の出来ないレベルで安全性と温度安定性能を実現した製品です。幅広い製品ラインナップにより、あらゆる種類や異なったサイズのタイヤにも、簡単にそしてパーフェクトに対応出来ます。

ここに記載された本製品の機能的特徴と使用方法をご理解して頂く事により、最短時間での使用最適温度への到達や、タイヤトレッド全面にむらなく均一に加温し、その加温を継続したまま恒温管理出来るという、他に類を見ない画期的な性能を発揮します。

サーモスタットを用いて温度管理を行う CAPIT 以外のすべてのタイヤウォーマーは、その機能上センサー部分の温度感知だけで全体の加温と停止を繰り返す温度管理方法のために、同じタイヤの中でもサーモスタットから離れた場所との温度むらが発生します。またサーモスタットはそれ自身がデリケートな構造のために使用環境上のトラブル発生の原因ともなり易く、設計上スイッチング回数に限度があるためにタイヤウォーマーの温度管理には不向きと言えます。

CAPIT タイヤウォーマーは長年にわたる温度管理技術のノウハウと緻密な計算とシンプルな構造による、世界で唯一サーモスタットもしくはスイッチを用いない温度管理方法「常時接続加温型恒温管理方法」を実現。タイヤの使用最適温度といわれる約 80℃を、常に一定の温度でタイヤ全体を均等に加温し続けることにより、サーモスタットやスイッチングタイプのタイヤウォーマーが抱える問題を解決しました。

## 2. ご使用になられる前に：

CAPIT タイヤウォーマーダイレクトプラグインタイプが、タイヤのトレッド面を 80~85℃に加熱するまでの所用時間は、外気温度が 20℃以上の場合約 40 分、外気温度が 10~15℃以下の場合約 60 分です。（これらの時間はあくまでも目安であり、天候及び周囲の環境、外部より供給される電源、発電機の発電性能により異なります。）

タイヤウォーマーを使用してタイヤの性能を正しく加熱保温しているかを確認する方法として、タイヤの空気圧が冷間時空気圧から温間時空気圧に高められていることが一つの目安になります。タイヤウォーマーをサーキットで実際にご使用になる前に、事前にタイヤウォーマーがタイヤの空気圧を冷間時空気圧から温間時空気圧まで高めるための所要時間をご確認ください。

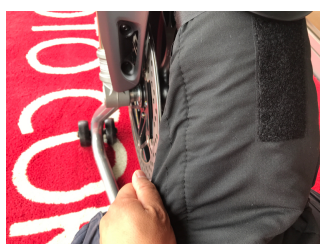
また、タイヤウォーマーの性能は、ご使用になられる気温や強風など周囲の環境により影響を受けます。天候の変化に合わせ加熱保温の時間を調整するとともに、これら天候の影響を受け難くするためにオプションの CAPIT ウィンドストップカバーを合わせてご使用頂くことをお勧め致します。なお、タイヤの冷間・温間時空気圧などの情報はご使用のタイヤメーカーにお問い合わせ頂きますようお願い申し上げます。

タイヤウォーマーは必ずそのタイヤウォーマーが指定する適合タイヤサイズ（適した周長範囲）のみでご使用ください。適合外のタイヤサイズでご使用になられると次の様な問題が発生します。

1. 適合サイズより大きい（周長が長い）タイヤに使用する場合：  
タイヤウォーマーがタイヤトレッド/サイドウォールを十分に覆うことが出来ず、タイヤが正しく加温保温されない。
2. 適合サイズより小さい（周長が短い）タイヤに使用する場合：  
タイヤウォーマーがダブつくもしくは重なり合うことでその部分が異常高温になりタイヤウォーマーが破損する。

### 3. 使用方法・装着：

1. オートバイをフロントスタンドとリアスタンドで確実に直立させます。
2. タイヤウォーマーを装着するタイヤ・ホイールのエアバルブを確認、手前に持ってきます。
3. タイヤの空気圧が冷間時空気圧であることを確認します。
4. 丸まったタイヤウォーマーを広げ、電源コードと反対側、タイヤウォーマー先端のホイールストラップを確認します。
5. エアバルブの向こう側に通しタイヤウォーマーのホイールストラップ（面ファスナー・ループ）を回し、タイヤウォーマーの中心がタイヤトレッドの中心に合う位置でホイールストラップを面ファスナー・フックに固定、タイヤウォーマーをタイヤ・ホイールに固定します。
6. タイヤ・ホイールを両膝で挟み込みホイールが回らないように押さえた状態で、ホイールストラップで固定されたタイヤウォーマーの両端を両手で左右に開き、タイヤウォーマーを手前に引っ張るとともにタイヤトレッド面に密着させながら少しずつタイヤウォーマーをタイヤに装着していきます。
7. タイヤウォーマー後端のベロを面ファスナーに固定します。
8. 正しくタイヤウォーマーが装着されたことを確認した後、電源コードのプラグをコンセントに差し込み通電を開始します。その際メモとして通電開始時間を残す、もしくはキッチンタイマーなどを使用して通電経過時間を測定しておくことでタイヤの温度管理に便利です。
9. 通電中のタイヤウォーマーの電源コードにピット内を歩く人の足などが引っ掛からないように注意してください。
10. 気温が低い場合など必要に応じて別売のウィンドストップタイヤウォーマーカバーをご使用ください。

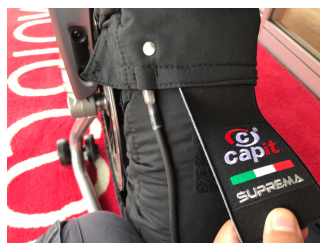


#### 4. 使用方法・脱着：

1. 耐熱性の電気絶縁グローブを装着します。タイヤウォーマーとタイヤが熱くなっていますので十分気をつけてください。
2. タイヤの空気圧が温間時空気圧に達したことを確認します。
3. タイヤウォーマーをタイヤから取り外す前に必ず電源コードプラグを電源から取り外します。タイヤウォーマーへの通電が完全に遮断されたことを確認してください。

【重要】タイヤウォーマーを通電させたままタイヤから取り外し放置すると、タイヤウォーマー本体（内部や外部）が破損するだけでなく（この場合保証期間中であっても保証適用の対象外となります）、火災など重大な事故につながる原因になります。タイヤウォーマーをご使用の際は必ずこのことをご理解の上ご使用いただき、タイヤウォーマーの故障や事故を未然に防ぐようお気をつけください。また、タイヤウォーマーの管理（取り付けや取り外し）を第三者（ヘルパーやチームメイト）に依頼される場合は、必ずこのことを理解してもらえらるようにご説明をお願いします。

4. タイヤウォーマー後端のベロを面ファスナーから取り外します。
5. タイヤをゆっくりとまわしながらタイヤウォーマーを取り外していきます。
6. タイヤウォーマー先端のホイールストラップをホイールから取り外し、タイヤウォーマーをタイヤ・ホイールから完全に取り外します。
7. 取り外したタイヤウォーマーはゆったりと軽く丸め、ピット内にいる人やオートバイで踏みつけられない場所に保管します。
8. 取り外したタイヤウォーマーが十分冷えたことを確認の上、キャリーバッグに収納してください。



## 5. 保証について：

CAPIT タイヤウォーマー-SUPREMA/MAXIMA/FULLZONE Vison/FACTORY は購入日から 3 年間の保証、SMART は購入日から 1 年間の保証が付帯されます。この期間中 CAPIT PERFORMANCE S.r.l.は、本案内に記載の注意事項及び正しい使用方法が尊重されている限り、CAPIT PERFORMANCE S.r.l.の判断により製造上の欠陥を有するすべての製品を保証にて修理させていただきます。なお、すべての保証は、製品に付属する保証書に CAPIT 販売店が署名押印されたものだけが受け入れられますので、ご購入の際は必ず保証カード記載内容をご確認くださいようお願い申し上げます。

ただし、本案内に記載されている使用方法とは異なる間違った使用方法や、お客様ご自身による製品の改ざんがあったことが CAPIT PERFORMANCE S.r.l.により判断された場合は、自動的にこの保証を無効にいたします。

また、CAPIT タイヤウォーマーの製品故障に伴い発生したタイヤ、ホイール、車体、建物などへの損傷、人的な被害などの二次的な損害につきましては、一切お受けいたしかねますので、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

## 6. 重要事項：

本保証書は、認可された CAPIT 販売店のサインとスタンプを含め、必要事項が完全に記入され場合のみ有効とさせていただきます。

## 7. ご使用上の注意事項：

CAPIT タイヤウォーマーは、安全のための基本事項を確実に遵守して頂くために、注意事項及び製品の正しい使用方法を熟知し、製品表面の状態について目視確認及びその判断を行うことが出来る人以外は、決して使用しないでください。

**【重要】タイヤウォーマーとして間違ったご使用方法にて製品が故障、破損した場合は、例え保証期間内であっても保証は適用されませんので、十分ご注意ください。**

1. タイヤウォーマーをタイヤに装着する際は、高温になるエンジン、エキゾーストパイプ、ブレーキキャリパー、ブレーキディスクなどに対し十分な距離があることを確認の上、接触しないように行ってください。特に DUCATI スーパーバイクモデルをはじめとするリアタイヤとエキゾーストパイプが接近しているモデルには、タイヤウォーマー外部が耐熱性アラミド繊維の FIRE タイプ以外のタイヤウォーマーは使用しないでください。
2. フロントタイヤにタイヤウォーマーを装着する際は、フロントフェンダーと間に十分な距離があることを確認してください。タイヤウォーマーがフロントフェンダーで擦れたまま使用を続けると、タイヤウォーマー外部が損傷する、もしくはフロントフェンダーとの接触部分が異常高温となりタイヤウォーマー故障の原因となります。
3. タイヤウォーマーを装着するオートバイのフロントタイヤとリアタイヤは、タイヤウォーマーを装着した状態でも地面に一切接触していないことを確認してください。地面に接触した部分が異常高温となり、内部及び外部表面が損傷する原因となります。
4. タイヤウォーマーを装着しているオートバイのエンジンを暖気運転する際は、絶対に誤ってギヤを入れないでください。タイヤウォーマーを装着したリアタイヤが空転し、タイヤウォーマーに重大な損傷を及ぼします。
5. タイヤウォーマーの内部及び外部表面に、裂け目や明らかな損傷が 1 カ所以上認められる場合は、製品が損傷していてご使用頂けない状態です。使用せずにモトコルセへご相談ください。

6. 電源コードが裂けたり損傷したりした場合は、速やかに電源プラグをコンセントから抜き取り、CAPIT による修理が行われるまではタイヤウォーマーのご使用を中止してください。
7. ダイレクトプラグインモデルは、タイヤウォーマーに直接電源が供給されるようになっており、電源コード先端のプラグ差し込みと同時に通電・作動が開始されます。電源コードプラグをコンセントに差し込む前に、必ずタイヤウォーマーをそのタイヤウォーマーが適したサイズのタイヤにぴったりと密着させるようにセットしてください。
8. タイヤの品質と性能を正しく発揮させるために、3時間以上連続で加熱することはしないでください。
9. タイヤを加熱しているタイヤウォーマーは、タイヤウォーマー内部だけでなくタイヤトレッド表面も高温になります。タイヤウォーマーに通電してご使用している間は、決してタイヤウォーマーの位置調整などのために内部に手を入れることはしないでください。
10. タイヤを加熱しているタイヤウォーマーを取り外す際は、必ずタイヤウォーマーの取り外しよりも先に電源コードプラグをコンセントから抜いてください。通電したままのタイヤウォーマーをタイヤから取り外すと、タイヤウォーマーが丸まったり重なり合ったりすることでその部分に熱が集中、異常高温となり、内部及び外部表面に修理出来ない損傷が発生する原因になります。
11. タイヤを加熱しているタイヤウォーマーを取り外す際は、必ず耐熱性の電気絶縁グローブを装着して行ってください。
12. タイヤを加熱していたタイヤウォーマーを取り外した後は、ゆったりと軽く丸めた状態で、周囲に人のいない平らな場所に置いて、自然に冷ましてください。また、液体や冷却ガスなどを用いて強制的に冷却しないでください。
13. タイヤウォーマーのご使用を終えて収納する際は、タイヤウォーマーが十分冷めていることを確認の上行ってください。
14. タイヤウォーマーを廃棄する際は、お住いの地域の処分方法に従って、正しい方法で行ってください。

## 8. 修理の手続き：

誠にお手数ではございますが、モトコルセにて製品の状態を確認させていただきますのでお手元の製品を保証カードとともにお送りください。到着後 CAPIT PERFORMANCE S.r.l.の判断のもと保証適用の可否を決定させていただきます。

CAPIT PERFORMANCE S.r.l.にて保証請求が認められた場合、無料にて修理を行わせて頂きます。なお、この場合の「修理」とは製品本来の機能を正しく回復することであり、外観等をはじめ新品同様にする、もしくは新品に交換することではございません。

保証が認められなかった場合や保証期限が切れた後の製品の有料修理を希望される場合は、ご請求時点でのスペアパーツ価格と作業費用を元に修理させていただきます。

なお、すべての修理はイタリア CAPIT PERFORMANCE S.r.l.にて行い、製品性能を確認検査後モトコルセへ返送されます。この場合月一回頻度にて日本イタリア間輸送を行っている便に同梱する形で発送いたしますので、修理ご希望の製品をお預かりしてからお客様へご返送するまでの間、お時間を頂戴する場合がございます。



#### 9. 送料と修理代金お支払について：

誠に恐れ入りますが、お手元の製品をモトコルセまでお送り頂く際の発送送料は、お客様ご負担の「送料元払い」にてお送りくださいますようお願い申し上げます。着払いにて到着した修理品は到着時の送料を返送時にご請求申し上げます。日本イタリア間の輸送費用はモトコルセが負担いたします。また、イタリアより返送された修理完了品をお客様に返却する際も、発送送料（日本国内に限らせていただきます）はモトコルセが負担いたします。ただし、保証適用外及び有料修理のお客様へは商品代金引換発送にてお送りしますのでその際の代引き手数料はお客様ご負担とさせていただきます。

本案内並びに製品に関するお問い合わせ及び修理などに付きましては下記窓口にお当合わせ下さい。

モトコルセ販売部 CAPIT 係

住所： 〒243-0022 神奈川県厚木市酒井 3011 番地

Tel： 046-220-1611

Fax： 046-220-1699

E-mail： [info@motocorse.jp](mailto:info@motocorse.jp)



CAPIT PERFORMANCE 製品総輸入発売元  
MOTO CORSE  
〒243-0022 神奈川県厚木市酒井 3011 番地  
Tel: 046-220-1611 Fax: 046-220-1699  
Web site: [www.corse.jp](http://www.corse.jp) / e-mail: [info@motocorse.jp](mailto:info@motocorse.jp)